

別紙

福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名称：株式会社 マスネットワーク	所在地：長野県松本市巾上 9-9
評価実施期間：平成 30 年 11 月 1 日～平成 31 年 2 月 21 日	
評価調査者（評価調査者養成研修修了者番号を記載） 060672 050022 050231	

2 福祉サービス事業者情報（平成 30 年 12 月現在）

事業所名： ゆめの里和田デイサービスセンター （施設名）	種別：通所介護
代表者氏名： 理事長 高山 拓郎 （管理者氏名） 所長 倉科 桂	定員（利用人数）：32 名
設置主体：社会福祉法人 松本ハイランド 経営主体：社会福祉法人 松本ハイランド	開設（指定）年月日： 平成 14 年 4 月 1 日
所在地：〒390-1242 松本市大和田和田 2240-33	
電話番号：0263-40-3527	FAX 番号：0263-40-3370
ホームページアドレス： http://yumenosato.info/	
職員数	常勤職員： 8 名 非常勤職員： 7 名
専門職員	（専門職の名称）
	介護福祉士 5 名 介護福祉士 4 名
	看護師 2 名 看護師 1 名
	言語聴覚士 1 名
施設・設備 の概要	（居室数） 2 室 （設備等） ホール・静養室

3 理念・基本方針

<p>社会福祉法人松本ハイランド経営理念</p> <ol style="list-style-type: none">わたしたちは、地域とともに歩み、支えあい、助け合う地域福祉をめざします。わたしたちは、一人ひとりの尊厳を大切に、じぶんらしい暮らしの実現に向け支援しますわたしたちは、笑顔と思いやりの心、責任と誇りを持ち、より高い目標に向かい、惜しみない努力をします。 <p>基本方針</p> <p>このような諸情勢（法改正）を踏まえ、社会福祉法人松本ハイランドでは、地域の福祉ニーズへ対応する地域貢献活動を実践し、利用者の自立支援を重点に取り組む</p> <ol style="list-style-type: none">余暇活動の充実に努め、目的を持って利用して頂けるようにします。自立支援に向け取り組みます。利用者家族を支えていきます。地域との積極的な交流、地域貢献を行います地域へ情報を発信します。
--

4 福祉サービス事業者の特徴的な取り組み

1. 日中の活動としては個々の機能に合わせた手先を使った作品作りを取り入れ、認知症予防や意欲向上に努めています。施設横での畑では野菜を育て、その野菜と一緒に収穫し、毎日利用者と一緒に、野菜を使った昼食の味噌汁作りを行います。イベント食（鍋・寿司・うどん・そばなど）選択メニューも実施しています。
2. 個別機能訓練も8割の方が実施、その方に合った計画書を作成、外部指導者と連携を計り、自立支援に向け、QOLの向上のため生活に密着したリハビリを実施しています。
食事前の口腔体操30分、食後の口腔ケア実施により、口腔ケアにより嚥下機能低下や安全に食べられることを目指しています。
3. 安心して利用していただくために、送迎時や連絡ノートも活用し情報交換も行っています。
係分担も明確に、職員一人一人が責任を持ちやりがいのある仕事、職場づくりに努めています。
4. 地域のボランティア（木曜日以外）が午前中に利用者と会話をしながら、一緒に手作業に取り組んで頂いています。顔見知りになり「元気だったね、また来るね」と挨拶を交わし、地域に支えられ、地域の交流の場にもなっています。
ボランティアの方による文化琴・日本舞踊・フラダンス・ハーモニカ・新体操などの慰問も毎月実施しています。
月に1回デイホールでは健康づくりとして、地域の方向けに健康教室を開催しています。
体操やゲームでリフレッシュしおやつづくりや健康相談など行っています。
出張デイと題し、2地区の公民館に出向き専門分野を活かし、体操やレクリエーション・脳トレ・健康相談など地域の方が地域でより良い生活が送れるように支援しています。
5. 広報誌の発行をしています。

5 第三者評価の受審状況

受審回数（前回の受審時期）	2回（平成23年度）
---------------	------------

6 評価結果総評（利用者調査結果を含む）

◇特に良いと思う点

①地域との関係性が適切に確保されている

運営主体の社会福祉法人JA松本ハイランドは、平成13年3月に創立以来「地域」との関係性強化を最重点に位置付けて、地域の信頼と期待に応える事業の展開に努め、理念の実践に繋げている。ゆめの里和田デイサービスセンターの基本方針・具体策の

中にも地域との積極的な交流や地域貢献取組について文書化されている。地元公民館を活用しての出張デイサービスや元気に自立した生活を送るための健康教室の開催、利用者との日常的な交流やレクリエーション支援のボランティア受け入れ、デイサービスセンター車両や運転手とJA松本ハイランドが連携協力して買物支援の必要な方への対応などがされている。また、毎月1回、子ども（乳幼児）対象の活動の場を提供するなど、地域のグループや組織の活動に対して施設の地域交流ホールを提供している。地域の福祉ニーズの把握と様々な事業・活動などを通して、法人の理念である地域と共に歩み、支え合い、助け合う地域福祉の拠点としての機能を備えて実践している。

②利用者の満足度が高い通所介護サービス

職員は、法人の経営理念、基本方針にもとづき、利用者一人ひとりの尊厳を大切に、自分らしい暮らしの実現に向けた支援を目指している。職員は、利用者に寄り添い、傾聴して笑顔で会話をしている姿が見られる。入浴環境が整い、利用者の意向に合わせた入浴支援の実施、食事の嗜好に関するマニュアルに沿って一人ひとりの嗜好に合わせた食事が提供される、複数のメニューがあるレクリエーションやリハビリテーションの実施は、利用者からの満足度が高い。事業所方針に職員同士が連携し合い、意欲的に働ける事業所を目指すことを掲げている。職員のチームワークの取れた意欲的な職場づくり、ボランティアの協力などが利用者の高い満足度に繋がっている。

③利用者の機能訓練や介護予防の取組

利用者の自立支援に向けて、利用者の個性を大切に、その人にあった活動（手芸・工芸・園芸・調理など）メニューの提供がされ、職員、時にはボランティアの支援があり充実が図られている。集団レクリエーション、全体・個人リハビリテーションは、介護職員、看護師や機能訓練士の連携のもとに行われ、日常生活動作に反映できるリハビリテーションを重点的に実施されている。医療機関から医師、機能訓練士が訪問し、助言・指導を受ける体制があり、個別機能訓練計画に反映されている。在宅でも機能維持・改善、向上に向けた取組が家族や介護支援専門相談員と連携して行われている。言語聴覚士の配置により継続的に食前の口腔ケア体操、食後の口腔ケアの充実により、嚥下機能低下の防止、安全に食事ができる支援に繋がっている。関係機関、職員間の連携が図られ、利用者の介護予防や身体機能訓練が積極的に取り組まれている。

◇特に改善する必要があると思う点

①職員研修へのさらなる取組

質の高い通所介護サービスの提供のために職員一人ひとりの研修年間計画が作成され、研修会に参加している。また、管理者が中心となり必要に応じて職員会議の中で研修が行われている。個人情報保護規定、利用者の尊厳や基本的人権へ配慮についての研修が予定されている。安全確保・事故防止に関する研修、高齢者の健康管理や病気、薬に関する研修などは実施されていない。これらの定期的な研修は、利用者の尊厳の保持と安心・安全確保のため、健康な生活を支援するために欠かせない研修である。研修から得られた知識をもとに、職員一人ひとりが利用者支援の取組を通して、定期的な見直しと改善を図ることは、支援体制の構築がされ、通所介護サービスのさ

らなる質の向上に繋がる。併設の福祉施設で開かれる研修会に参加する等の工夫をして研修の機会を作られることが望まれる。

7 事業評価の結果（詳細）と講評

共通項目(別添1)

内容評価項目(別添2)

8 利用者調査の結果

聞き取り方式の場合(別添3-2)

9 第三者評価結果に対する福祉サービス事業者のコメント(別添4)

平成31年2月28日 記載

第三者機関による客観的な施設の評価を受けたことは、現在の事業者の目標や取り組み内容について、再度見直すとてもよい機会となりました。そして、聴き取りをして頂き、事業所が求められているものは何なのか、役割はどういうものか職員一人一人が考える事が出来ました。

利用者の声も聞けたことは、これからの励みにもなりました。

今回の評価をよい機会ととらえ、改善点の見直しを行いよりよいサービスに繋げていきたいと思えます。

ゆめの里和田デイサービスセンター
所長 倉科 桂